



# 平成30年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年4月5日

上場会社名 カネコ種苗株式会社

上場取引所 東

コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 昌彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役財務部長 (氏名) 長谷 浩克

TEL 027-251-1619

四半期報告書提出予定日 平成30年4月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年5月期第3四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成30年2月28日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第3四半期	35,856	3.2	492	26.3	604	19.1	364	31.6
29年5月期第3四半期	34,748	3.3	668	27.9	746	26.3	533	18.6

(注) 包括利益 30年5月期第3四半期 567百万円 (18.7%) 29年5月期第3四半期 697百万円 (45.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第3四半期	31.05	
29年5月期第3四半期	45.42	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第3四半期	35,593	17,946	50.4	1,528.64
29年5月期	43,369	17,686	40.8	1,506.34

(参考) 自己資本 30年5月期第3四半期 17,946百万円 29年5月期 17,686百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		11.00		15.00	26.00
30年5月期		11.00			
30年5月期(予想)				15.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,500	2.9	1,900	5.7	2,000	5.5	1,350	9.4	114.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年5月期3Q	11,772,626 株	29年5月期	11,772,626 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年5月期3Q	32,334 株	29年5月期	31,555 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年5月期3Q	11,740,770 株	29年5月期3Q	11,741,309 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年6月1日～平成30年2月28日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善など堅調さがみられるものの、海外経済の不確実性やアメリカの金融政策の動向、地政学リスク等の不安要素を多く抱えております。

国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、天候不順による農産物の作柄不良、アメリカ抜きで成立したTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)など、農家経営へマイナス影響が懸念される事象が散見されます。

このような状況のなか当社グループの業績は、施設材事業の販売が順調に推移したことから、売上高358億56百万円で前年同四半期比11億7百万円(3.2%)の増収となったものの、利益面では、農材事業・施設材事業・花き事業で減益となり、営業利益4億92百万円で前年同四半期比1億75百万円(26.3%)減、経常利益6億4百万円で前年同四半期比1億42百万円(19.1%)減、親会社株主に帰属する四半期純利益3億64百万円で前年同四半期比1億68百万円(31.6%)減となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## 種苗事業

種苗事業においては、野菜種子関係でエダマメの国内販売やカボチャ・キャベツの輸出について、販売時期が第4四半期にずれ込んだことによる減収要因があったものの、ニンジン等の輸出やスイートコーンの国内販売の増加、新規に連結を開始したフィリピン所在の子会社(フィリピーナス・カネコ・シーズ・コーポレーション)の業績が付加されたことに伴い堅調に推移いたしました。

売上高50億24百万円で前年同四半期比3.3%の増収となり、利益面においても、セグメント利益7億37百万円で前年同四半期比18.0%増となりました。

## 花き事業

花き事業においては、球根や家庭園芸資材の需要低迷や販売先の園芸事業からの撤退などにより、売上高44億2百万円で前年同四半期比4.7%減収となりました。利益面においても、セグメント損失1億86百万円(前年同四半期のセグメント損失は1億66百万円)で損失は拡大いたしました。

なお、当事業は春に需要期を迎えることに伴い、第4四半期に売上高及び利益が集中的に計上される傾向があります。例年第3四半期まではセグメント利益はマイナスですが、通期では当該マイナスは解消されております。

## 農材事業

農材事業においては、低温により害虫発生が少なかったことによる殺虫剤の販売減があったものの、茎葉除草剤の需要増や土壌消毒剤の値上がり前の駆込み需要などを取込み、売上高156億1百万円で前年同四半期比1.2%増となりました。利益面については、競争激化による採算性の低下から、セグメント利益は3億45百万円で前年同四半期比32.9%減となりました。

## 施設材事業

施設材事業においては、積極的な新規販売先の開拓が功を奏したことなどから、売上高104億88百万円で前年同四半期比9.0%増となったものの、養液栽培プラント工場の減少や、一般農業資材の市況低迷等により採算性が悪化したことなどから、セグメント利益は2億78百万円で前年同四半期比9.9%減となりました。

## 造園事業

造園事業においては、工事完工高伸長等に伴い売上高3億39百万円で前年同四半期比53.2%増となり、セグメント利益は10百万円(前年同四半期のセグメント損失は1百万円)と改善いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は355億93百万円となり、前連結会計年度末と比較して77億75百万円減少いたしました。これは主に商品は増加したものの、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

また、「負債の部」の残高は、176億46百万円となり、前連結会計年度末と比較して80億36百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

「純資産の部」の残高は、179億46百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億60百万円増加いたしました。これは主に利益計上及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までの業績に鑑み、前回発表予想の達成が困難となったため、業績予想を下表のとおり修正いたします。

主な要因は、農材事業における競争激化による採算性の低下、施設材事業において、養液栽培プラントの完工売上が当初予想を下回ることや、一般農業資材の市況低迷、花き事業における需要低迷などによるものであります。

平成30年5月期通期連結業績予想数値

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	59,500	2,050	2,150	1,450	123 50
今回修正予想 (B)	59,500	1,900	2,000	1,350	114 99
増減額 (B - A)	—	△150	△150	△100	—
増減率 (%)	—	△7.3%	△7.0%	△6.9%	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年5月期)	57,848	2,015	2,116	1,489	126 86

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,702,589	4,177,313
受取手形及び売掛金	22,200,662	13,552,996
商品	6,774,347	7,826,266
その他	1,500,654	1,452,362
貸倒引当金	△21,792	△14,077
流動資産合計	35,156,461	26,994,860
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,196,523	4,196,523
その他(純額)	1,680,338	1,946,201
有形固定資産合計	5,876,862	6,142,725
無形固定資産	44,955	44,975
投資その他の資産		
その他	2,303,425	2,423,346
貸倒引当金	△12,619	△12,595
投資その他の資産合計	2,290,806	2,410,750
固定資産合計	8,212,624	8,598,452
資産合計	43,369,085	35,593,313
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,201,137	14,072,660
短期借入金	—	980,000
未払法人税等	397,090	6,297
その他	1,208,135	720,689
流動負債合計	23,806,363	15,779,647
固定負債		
退職給付に係る負債	1,640,457	1,639,364
役員退職慰労引当金	117,750	118,600
その他	118,495	109,012
固定負債合計	1,876,702	1,866,976
負債合計	25,683,066	17,646,623
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,221	1,765,221
利益剰余金	14,158,524	14,217,770
自己株式	△21,497	△22,740
株主資本合計	17,393,515	17,451,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	639,772	802,981
為替換算調整勘定	△32,621	△28,260
退職給付に係る調整累計額	△314,646	△279,550
その他の包括利益累計額合計	292,504	495,170
純資産合計	17,686,019	17,946,689
負債純資産合計	43,369,085	35,593,313

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
売上高	34,748,841	35,856,166
売上原価	29,024,498	29,953,233
売上総利益	5,724,343	5,902,932
販売費及び一般管理費	5,055,710	5,410,060
営業利益	668,633	492,872
営業外収益		
受取配当金	24,948	25,481
受取家賃	43,144	45,634
受取保険金	—	41,123
その他	23,682	15,894
営業外収益合計	91,775	128,133
営業外費用		
支払利息	13,191	9,653
為替差損	627	5,726
その他	—	1,462
営業外費用合計	13,818	16,841
経常利益	746,589	604,164
特別利益		
投資有価証券売却益	39,803	—
特別利益合計	39,803	—
特別損失		
固定資産処分損	17	43,954
投資有価証券売却損	—	3,375
特別損失合計	17	47,330
税金等調整前四半期純利益	786,375	556,834
法人税等	253,110	192,325
四半期純利益	533,265	364,508
親会社株主に帰属する四半期純利益	533,265	364,508

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成30年2月28日)
四半期純利益	533,265	364,508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	130,576	163,208
為替換算調整勘定	—	4,361
退職給付に係る調整額	33,662	35,096
その他の包括利益合計	164,239	202,666
四半期包括利益	697,504	567,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	697,504	567,174



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	4,865,937	4,621,196	15,413,771	9,626,540	221,397	34,748,841
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53,518	55	953	2,268	—	56,794
計	4,919,455	4,621,251	15,414,724	9,628,808	221,397	34,805,635
セグメント利益又は損失(△)	625,034	△166,768	513,922	308,580	△1,667	1,279,101

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,279,101
全社費用(注)	△610,468
四半期連結損益計算書の営業利益	668,633

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	造園 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	5,024,088	4,402,827	15,601,343	10,488,710	339,198	35,856,166
セグメント間の内部売上高 又は振替高	57,063	510	1,090	2,104	60	60,827
計	5,081,151	4,403,337	15,602,433	10,490,814	339,258	35,916,993
セグメント利益又は損失(△)	737,506	△186,843	345,058	278,002	10,039	1,183,762

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,183,762
全社費用(注)	△690,890
四半期連結損益計算書の営業利益	492,872

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。